

一般質問

加藤議員

中学校の統廃合について

問 中学校の統廃合については、1校か2校かに焦点を絞って議論し、平成24年度中に結論を得られるようにしたいとしている。

① 1校に統廃合の場合、学校教育法の設置基準に適合するののか。適合しない場合はどうするか。

② スクールバス運行による市の負担、財政への影響は調査してあるか。

③ 中学校が1校に統合されると、現在の教員58人が38人になり、34%の教員が他市へ流出することになる。教員の雇用問題をどう解決するか。

④ 中学校がなくなると、その地域に若者が家を建てたり、移住したりすることはなくなる。定住化政策に影響はないか、ベトナム構想も薄れるのではないか。

⑤ 現在の中学校は、一人ひとりに応じた指導がしやすく、また地域との密接した関係がある中で連携も図りやすく、教育的にいい環境にある。統廃合計画は見直しが必要でないか。

答 ① 仮に中学校を1校に再編し、場所を現勝山中部中学校とした場合、校舎・運動場面積共に、



中部中学校

その他の質問
・教育環境の充実について
・介護保険改訂について
・中国友好都市交流事業について
・原発ゼロと核兵器廃絶について

設置基準面積を上まわっており、法的には問題はない。

② スクールバスに対しては、交付税措置もあり、市の財政運営上、支障にならないものと認識している。

③ 今後の教職員数については、文部科学省の計画において配置基準が緩和されることが期待されている。

④ 学校の存在は地域を形成する大きな要素ではあるが、中学校の再編は、生徒の教育環境を整え、未来を担う人材育成の面から考えるべきもの。

⑤ 中学校再編への取組みは、様々な観点から議論・検討し、まとめられた「勝山市の小中学校の望ましいあり方検討委員会報告書」の考え方を基本に進めていく。

門議員

福井県新高速交通ネットワーク活用・対策プランを踏まえての勝山市の対応について

問 福井県の新高速交通ネットワーク活用・対策プランを踏まえた勝山市の更なる発展をどのように図るののか。

答 交通の流れの変化により、新しく生まれる物流があり、その物流の流れの一つが道の駅であると考えるが、現在考えている道の駅とはどのようなものか。

問 北陸新幹線金沢開業を踏まえて、ヨコハマ恐竜展でのかつやまフェア開催や宿泊予約サイト等での全国への情報発信に取り組んでいる。また越前加賀宗文化街道推進協議会等による広域での取り組みを行うとともに、観光資源の魅力アップ・食によるまちなか誘客を図っている。

道の駅については将来交通量などを考慮した立地場所の選定、財源確保や運営体制など整備手法、まちなか誘客との連携など検討しており、年度内に素案づくりを行う。

その他の質問
・山林売買の現状について

小水力発電への取り組みについて

問 勝山市は、小水力発電に取り組む意思があるのかどうか。

答 県が1市町1エネルギーに取り組むというのであれば、勝山市の場合は、どこにどのように取り組むのか。

問 今年度より、庁内の関係課で構成する「エコ環境都市推進プロジェクト」内に「自然エネルギー推進チーム」を設置し、自然エネルギーを活用した事業を今後どのように進めていくのか検討を始めた。小水力発電については、目的・場所など十分検証して研究を進めていく。

